

農作物の廃棄を使用した、天然100%植物マテリアル『EUMIS skin』の開発

ビジネスアイデアの概要

サステナブルレザーとして流通するヴィーガンレザーの多くは、植物性と認識されながらも、実際には石油由来素材を含み、環境負荷の課題を抱えている。一方、本革製造では大量の薬品や水が使用され、製造過程や廃棄の問題が指摘されている。

『EUMIS skin』は、**農作物廃棄を主原料に、天然成分100%で製造する新素材**。地域ごとの副産物や未利用資源を活かし、**素材化から製品化、使用後の堆肥化までを想定した循環型の設計**を行っている。現在は、素材特性の安定化と製品化に向けた実証を進めている。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- 1, 用途拡張を見据えた引裂き強度・耐水性など、物性面の継続的な向上
- 2, 原料配合と物性の関係性に関する検証・整理による、品質設計の高度化
- 3, 実証フェーズに即した事業モデルの検証と、中長期展開に向けた事業設計

事業化の見通し

2025年に法人設立を行い、現在は素材特性の検証と製品化に向けた実証段階。
2026年は、国内での小規模製造と品質検証を行いながら、製造プロセスを整理し、一部製品の販売を予定。あわせて、**早期海外展開を見据えた準備**に着手する。
2027年以降は、全国「ご当地skin」を軸に素材バリエーションと展開地域を広げ、事業化を進める。

事業者情報



爪長 季美

Founder / CEO

環境問題に取り組む仕立て屋



佐野 拓也

Research / Engineering

半導体エンジニア

ビジネスアイデア概要図等

